

令和2年度行政事業レビューシート (個人情報保護委員会)

事業名	特定個人情報の監視・監督に必要な経費			担当部局庁	個人情報保護委員会事務局	作成責任者				
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官室	政策立案参事官 松本秀一				
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	個人情報の保護に関する法律第61条			関係する計画、通知等	社会保障・税番号大綱(平成23年6月30日政府・与党社会保障改革検討本部決定)、社会保障・税一体改革大綱について(平成24年2月17日閣議決定)					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会保障・税・災害対策の分野に関する行政手続で個人番号(マイナンバー)を利用する番号制度(マイナンバー制度)は、行政運営の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い、公平・公正な社会を実現するための社会基盤である。他方、国家による個人情報の一元管理、マイナンバーを用いた個人情報の不正な追跡・名寄せ・突合、財産その他の被害への懸念が示されてきた。このような懸念を踏まえた制度上の保護措置の一つとして、特定個人情報の適正な取扱いの確保を任務とする個人情報保護委員会の活動を通じて、マイナンバー制度の安心・安全及び国民の信頼を確保することを目的として実施する事業である。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	個人情報保護法において、「個人情報の適正かつ効果的な活用が新たな産業の創出並びに活力ある経済社会及び豊かな国民生活の実現に資するものであることその他の個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取扱いの確保を図ること(個人番号利用事務等実施者に対する指導及び助言その他の措置を講ずることを含む。)」が委員会の任務とされており、その任務を達成するため、特定個人情報の取扱いに関する監視・監督(指導及び助言、勧告及び命令等)を行う。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	1,330.6	1,175.8	1,171.4	1,633.9	2,279.5			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	11.9	15	3.5	-	-			
	計		1,342.5	1,190.8	1,174.9	1,633.9	2,279.5			
	執行額		1,164.3	1,181.3	1,167	-	-			
	執行率(%)		87%	99%	99%	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		88%	100%	100%	-	-			
令和2・3年度 予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由						
	社会保障・税番号情報通信システム整備経費	1,082.5	1,724.6	社会保障・税番号情報通信システム整備経費の増については、監視・監督システムの更改による開発費用と新旧のシステムを並行して利用する期間であるため。 「新型コロナウイルス感染症への対応など緊要な経費」607.4						
	情報処理業務庁費	321	365.8							
	個人情報保護業務庁費	216.4	174.9							
	職員旅費	13.1	13.4							
	委員等旅費	0.9	0.9							
	計	1,633.9	2,279.5							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)										

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定量的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績						
		<p>本事業の成果は特定個人情報の適正な取扱いを確保することであり、定量的な目標を設定することは困難である。そのため、「特定個人情報の適正な取扱いの確保を図るための措置及び周知を行うこと」を定性的な成果目標とする。</p>		<p>【定性的な成果目標】 特定個人情報の適正な取扱いの確保を図るための措置及び周知を行う。 【29～令和元年度の達成状況・実績】 特定個人情報の適正な取扱いの確保を図るための措置として、説明会等を実施したほか、特定個人情報の適正な取扱いに関する立入検査等を行った。また、問合せの多い事項についてガイドライン及びQ&A等の改正等を行い、周知を図った。</p>						
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度
		検査、指導、助言、勧告、命令等の実施により特定個人情報の適正な取扱いが確保されること	検査、指導、助言、勧告、命令等を実施した事業のうち、再発防止策が執られたものの割合	実績	%	100	100	100	-	-
			目標値		-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込	
	特定個人情報の取扱いに関する説明会等の対応件数		活動実績	件	60	41	42	-	-	
			当初見込み		-	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込	
	立入検査の実施件数		活動実績	件	27	85	48	-	-	
			当初見込み		-	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	旅費／説明会の開催及び講師派遣、検査等の件数		単位当たりコスト	万円	10.1	9	10.4	-		
			計算式	万円/件	880/87	1136/126	935/90	-		
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	個人情報の適正な取扱いの確保								
		施策	特定個人情報の取扱いに関する監視・監督（令和2年度より、特定個人情報の適正な取扱いの推進に変更される）							
	測定指標	定量的指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標年度
		特定個人情報の取扱いに関する制度についての説明会・特定個人情報安全管理措置セミナーについて参考になったとする割合		実績値	%	-	-	97	-	-
				目標値	%	-	-	100	-	100
		定量的指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標年度
		立入検査の実施件数		実績値	件	27	85	48	-	-
		(注) 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、当面立入検査の実施を見送ることとし、具体的な検査実施予定数を定めていないため、実績値のみを記載するものとする。		目標値	件	14	60	50	-	-
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況（目標）					
		定期的な報告の分析等	地方公共団体等における特定個人情報の適正な取扱いの確保	令和元年度	地方公共団体等の特定個人情報の取扱いの実態の分析及び分析結果の取りまとめを行うことで、より効果的な監視・監督を実施し、地方公共団体等における特定個人情報の適正な取扱いの確保を行う。					
					施策の進捗状況（実績）					
					地方公共団体等における特定個人情報の取扱い状況の分析結果をもとに、フォローアップ等を行った。					
定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況（目標）							
ガイドライン等の周知及び広報資料への反映等	適時適切な周知と資料への反映等	令和元年度	個人番号利用事務等実施者における特定個人情報の適正な取扱いの確保を図るための周知を行うとともに、質問・問合せ等の内容も踏まえて資料等への反映・改正を行い、常に時宜にかかった内容で啓発を行う。							
			施策の進捗状況（実績）							
			問合せ等の内容を踏まえて、ガイドライン及びQ&Aの更新を行った。							
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

			項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	個人情報保護法において、「個人情報の適正かつ効果的な活用が新たな産業の創出並びに活力ある経済社会及び豊かな国民生活の実現に資するものであることその他の個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取扱いの確保を図ること(個人番号利用事務等実施者に対する指導及び助言その他の措置を講ずることを含む。)」が委員会の任務とされており、国が実施すべき業務として必要かつ適切な事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	個人情報保護法において、「個人情報の適正かつ効果的な活用が新たな産業の創出並びに活力ある経済社会及び豊かな国民生活の実現に資するものであることその他の個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取扱いの確保を図ること(個人番号利用事務等実施者に対する指導及び助言その他の措置を講ずることを含む。)」が委員会の任務とされており、国が実施すべき業務として必要かつ適切な事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	個人情報保護法において、「個人情報の適正かつ効果的な活用が新たな産業の創出並びに活力ある経済社会及び豊かな国民生活の実現に資するものであることその他の個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護するため、個人情報の適正な取扱いの確保を図ること(個人番号利用事務等実施者に対する指導及び助言その他の措置を講ずることを含む。)」が委員会の任務とされており、国が実施すべき業務として必要かつ適切な事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	一般競争入札等の実施により、支出先を適切に選定している。また、調達に当たっては、代替提案を認めることや、入札制限を真に必要な項目に限定することなど、特定の事業者しか入札できないことがないよう配慮を行っている。結果的には一般競争入札において一者応募となった契約があり、次年度分の調達の際も手続きの透明性、公平性や競争性を確保するための更なる工夫に努める。
	<input type="checkbox"/> 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有	
	<input type="checkbox"/> 競争性のない随意契約となったものはないか。			無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	特定個人情報の適正な取扱いを確保するためにマイナンバーを取り扱う者に対する必要な指導及び助言その他の措置を講ずることを目的としたものであり、その目的を遂行する上で、必要最小限の経費を計上した。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	特定個人情報の適正な取扱いを確保するための監視・監督を行うに当たり、必要な検査等及び円滑な監視・監督を実施するための体制を整備することを目的として支出したものであり、使途を真に必要なものに限定した。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	特定個人情報の適正な取扱いを確保するためにマイナンバーを取り扱う者に対する必要な指導及び助言その他の措置を講ずることを目的としたものであり、その目的を遂行する上で、必要最小限の経費を計上した。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	成果実績は、特定個人情報の適正な取扱いを確保するための具体的な指針となるガイドライン等についての周知、広報を行うとともに、それらに基づき検査等を行ってきたものであり、成果目標(特定個人情報の適正な取扱いの確保を図るための措置及び周知)に見合ったものである。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	特定個人情報の適正な取扱いの確保を図るための措置・周知の一環として、国民及び関係機関からの要望に応じて開催するものを含め、説明会等を適切に開催した。
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	ガイドラインを委員会のWebサイトに掲載しているほか、説明会等において周知を図るなど、十分に活用している。また、特定個人情報の取扱いに関する注意喚起、検査結果を踏まえた留意点の説明会等を開催するなど、広く情報提供を行いつつ、当該資料を活用している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	
	所管府省名	事業番号	事業名		

点検・改善結果	点検結果	必要最小限の経費により特定個人情報の適正な取扱いの確保を図るための周知等を行うなど特定個人情報の監視・監督の実施に関する体制整備を行った。 特定個人情報が適正に取り扱われるよう、検査等の実施を含め、引き続き適切に監視・監督を行う必要がある。
	改善の方向性	引き続き効率的な予算執行に努める。

外部有識者の所見

できるだけ一者応礼にならないよう、努力と工夫を続けてほしい。

行政事業レビュー推進チームの所見

一部の事業内容改善	予算執行に当たっては、引き続き、手続の透明性・公正性の確保に努めること。
-----------	--------------------------------------

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

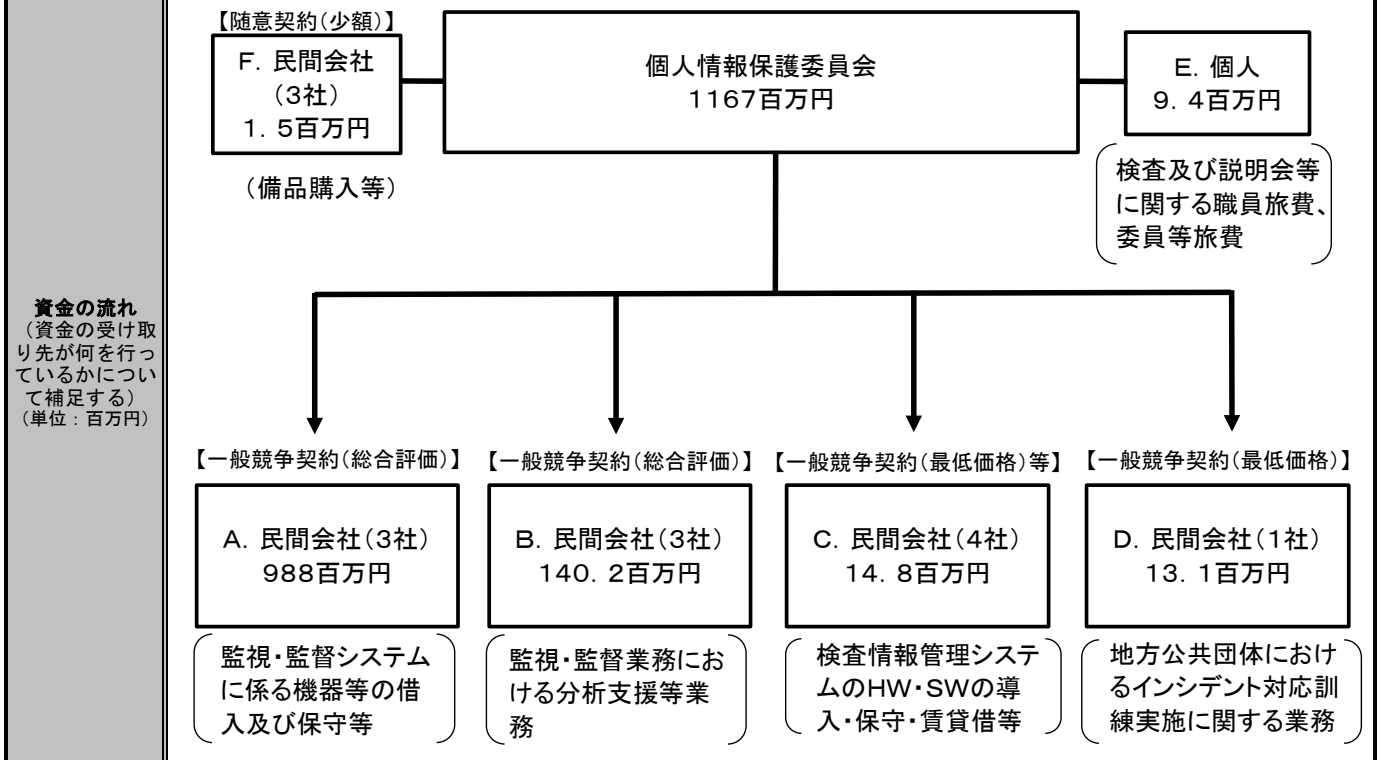
執行等改善	事業者の事前調査を行い、参加見込みのある事業者に対し案内を行うなど、調達の改善に努める。
-------	--

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	内閣府(新25-0014)
平成26年度	26-0001	平成27年度	27-0001	平成28年度	28-0001	平成29年度	29-0001
平成30年度	30-0001						
平成31年度	個人情報保護委員会 (0001)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)等			B.日本電気(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	機器借入	監視・監督システムに係る機器等の借入・保守	590.4	分析支援業務費	監視・監督業務における分析支援等業務	52.4
	計		590.4	計		52.4
	C.(株)ピーエスシー			D.京セラコミュニケーションシステム(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	機器借入	機器及びソフトウェアの導入・保守・賃貸借	7.6	役務費	地方公共団体向けマイナンバー漏えい事案に対する対処訓練業務	13.1
	計		7.6	計		13.1
	E.個人			F.リーガルテック(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	検査及び説明会等に関する職員旅費等	0.9	備品費	備品の購入	0.9	
計		0.9	計		0.9	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)等	7010001064648	監視・監督システムに係る機器等の借入・保守等	590.4	国庫債務負担行為等	-	-	
2	(株)日立製作所	7010001008844	監視・監督システムに係るアプリケーション保守業務	180.5	国庫債務負担行為等	-	-	
3	(株)日立製作所	7010001008844	監視・監督システムに係る運用等	144.5	国庫債務負担行為等	-	-	
4	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)等	7010001064648	データセンターの借入	55.7	国庫債務負担行為等	-	-	
5	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)等	7010001064648	通信回線等の借入等	16.9	国庫債務負担行為等	-	-	
6	(株)日立製作所	7010001008844	監視・監督システムに係る運用・アプリケーション保守業務	0	一般競争契約(総合評価)	1	99.9%	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気(株)	7010401022916	監視・監督業務における分析支援等業務	52.4	国庫債務負担行為等	-	-	
2	EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング(株)	6010001107003	監視監督システムの高度化検討等支援業務	38.3	国庫債務負担行為等	-	-	
3	アクセンチュア(株)	7010401001556	情報連携状況の監視支援等業務	29.5	国庫債務負担行為等	-	-	
4	アクセンチュア(株)	7010401001556	監視・監督業務高度化における分析調査等業務	15	一般競争契約(総合評価)	1	85.3%	
5	EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング(株)	6010001107003	監視・監督業務の最適化検討支援業務	5	一般競争契約(総合評価)	1	91.4%	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)ピーエスシー	4010401024691	機器およびソフトウェアの導入・保守・賃貸借	7.6	国庫債務負担行為等	-	-	
2	(株)アスカプランニング	8010001112265	運用等業務	5.3	一般競争契約 (最低価格)	1	96.6%	
3	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	7010001064648	回線等の導入・提供等業務	1.3	随意契約 (その他)		100%	
4	(株)JECC	2010001033475	ソフトウェアライセンスの賃貸借等業務	0.6	国庫債務負担行為等	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	京セラコミュニケーションシステム(株)	6130001012562	地方公共団体向けインシデント対応訓練実施業務	13.1	一般競争契約 (最低価格)	2	79.8%	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	説明会出席等	0.9	その他	-	-	
2	個人B	-	説明会出席等	0.8	その他	-	-	
3	個人C	-	説明会出席等	0.8	その他	-	-	
4	個人D	-	説明会出席等	0.8	その他	-	-	
5	個人E	-	説明会出席等	0.7	その他	-	-	
6	個人F	-	説明会出席等	0.6	その他	-	-	
7	個人G	-	説明会出席等	0.6	その他	-	-	
8	個人H	-	説明会出席等	0.5	その他	-	-	
9	個人I	-	説明会出席等	0.4	その他	-	-	
10	個人J	-	説明会出席等	0.4	その他	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	リーガルテック(株)	8010401100258	備品の購入	0.9	随意契約 (少額)	-	-	
2	富士ゼロックス(株)	3010401026805	消耗品の購入	0.5	随意契約 (少額)	-	-	
3	(株)第一文真堂	5010401017488	消耗品の購入	0.1	随意契約 (少額)	-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	A	(株)日立製作所	7010001008844	監視・監督システムに係る運用・アプリケーション保守業務	621.9	一般競争契約 (総合評価)	1	99.9%	
2	B	アクセンチュア(株)	7010401001556	監視・監督業務高度化における分析調査等業務	242	一般競争契約 (総合評価)	1	85.3%	

3	B	EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング(株)	6010001107003	監視・監督業務の最適化検討支援業務	121	一般競争契約 (総合評価)	1	91.4%	
---	---	---------------------------	---------------	-------------------	-----	------------------	---	-------	--